

## 北の大地で酪農青年と交流しませんか

～北海道別海町で開催される「菊と緑の会」 独身女性の参加者を募集～

枚方市の友好都市・北海道別海(べつかい)町は、今年も酪農青年と独身女性との交流会「菊と緑の会 in べつかい」を開催する。今回は、10月7日(金)～10日(月・祝)の3泊4日で開催予定。同町では独身女性の参加者を募集している。

★北海道東部に位置する別海町は、広大な原野を利用して約11万頭の乳牛が飼育され、牛乳をはじめバター、チーズの生産など日本屈指の酪農郷として知られている。東はオホーツク海に面し、サケ、マス、ホタテ、北海シマエビなどの漁業も盛んで、豊かな自然と資源に恵まれた土地。面積は、1319.63平方キロメートルで、人口は約1万5千人。酪農に607戸、漁業に350戸が携わっている。

★別海町では、1970年代から酪農後継者のパートナー不足が深刻化。同町の男性と結婚した枚方市出身の女性(神部 久美子氏 昭和49年6月結婚)が、里帰りの際に枚方市役所を訪問し「酪農の楽しさと後継者のパートナー不足」を訴えたのを機に、枚方市と同町が協力し、昭和59年に初めての交流会となる「菊と緑の会」が開催された。以来、交流会は毎年開催され、これまでの38回で645人の女性が参加し、このうち93組のカップルがめでたくゴールインしている。

★別海町の男性と結婚した女性たちは、「牛の世話は大変だけれど、素晴らしい自然の中で家族と一緒に働けることに魅力を感じた」「人情あふれる温かな町の様子が、別海町の生活を決心させた」などと、交流会に参加した感想を話している。

★39回目を迎える今回の交流会では、雄大な自然の中で、酪農研修牧場での酪農体験など、酪農青年や地域の人と交流を図っていく予定。

★こうした交流会がきっかけで、枚方市は別海町と昭和62年2月に友好都市提携を結んだ。枚方市では、同会のほかにも、中学生が隔年で夏休みに互いのまちを訪問する「少年少女ふれあいの翼」や枚方市友好・交流都市物産展など、別海町との交流の輪を広げている。

★参加費用は3万円。募集要項・参加申込書の請求は、住所・氏名・電話番号および「菊と緑の会」資料請求と記し、はがきかファクス、もしくは電子メールで、枚方市観光交流課へ。電話請求可。また、市ホームページからの取り出しも可。応募方法は、参加申込書を郵送で同課へ。8月10日消印有効。募集10人。参加者説明会を9月12日(月)に実施予定。

## ★「菊と緑の会」 「別海町で暮らす感動の8年！」

堺市出身の沙織さんは、平成25年度第30回「菊と緑の会 in べつかい」に参加。  
修弘さんと出会い平成27年に結婚。

### 家族構成

男性 細谷 修弘 (ほそや のぶひろ) (36歳)

女性 沙織 (ほそや さおり) (38歳)

子供 1男・1女

経営概況 総所有地 104.9ha 乳牛頭数 370頭 (成牛 196頭・育成 174頭)

沙織さんのコメント：

別海町にはたくさんの自然とそこに暮らす野生動物がいます。日常の生活の中で天然記念物の鶴が見られるなんて！！と、ここに住んで8年たっても感動しています。道路に猫がいるな・・・と想像していたらキタキツネだったこともありました。

大阪で生まれ育った私には農業、特に酪農なんて程遠い世界と思っていましたが、今では毎日子牛のお世話を主にしています。牛たちは新しい草を入れてあげると飛び跳ねて喜んでくれるので可愛いです。酪農業は家族と一緒に働くので心強く、楽しい面も多いです。

### ★ 交流会の様子。

溪流カヌー川下り体験の様子。

酪農体験の様子。

### ★ 参考

枚方市は国内外の都市と友好都市提携を結び交流を進めています。

#### 【海外友好都市】

中華人民共和国 上海市 長寧区 《1987年(昭和62年)12月提携》

オーストラリア連邦 クイーンズランド州 ローガン市 《1995年(平成7年)3月提携》

大韓民国 全羅南道 靈岩郡 《2008年(平成20年)3月提携》

#### 【国内友好都市】

高知県四万十市 《昭和49年4月提携》

北海道別海町 《昭和62年2月提携》

沖縄県名護市 《平成9年7月提携》

この内容に関するお問い合わせは…

○枚方市役所 観光にぎわい部 観光交流課

〒573-8666 枚方市大垣内町(おおがいとちょう)2丁目1-20

電話 072-841-1357(直通) E-mail sanbun@city.hirakata.osaka.jp

○別海町産業後継者対策相談所(別海町 産業振興部 農政課内)

担当：笠井 電話 0153-75-2111(代表)